

Universal Serial Bus Interface Hexa Media Drive

USB HMD

Model YD-8V14



日本語 ユーザーズ・マニュアル

<PN 149313-01 Rev. D>

Copyright © 2002 Y-E Data, Inc. All Rights Reserved.

September 2002

へキサ・メディア・ドライブ(HMD)ご使用上の重要なご注意

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ USB HMD をパソコンに接続する前に、本マニュアルに目を通してください。接続前にドライバソフトをインストールする必要があります。 ■ USB HMD の USB ケーブルを抜き差しするとき、本体パソコンの電源をオンオフする時はあらかじめメモリーカードを取出してください。 ■ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えたり、振動の激しい場所に置いたりしないで下さい。故障の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解、改造はしないでください。故障、火災、感電の原因となります。 ■ 水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。 ■ 指定されているメモリーカード以外は、挿入しないでください。硬貨、クリップなどの金属片を差込みますと故障、火災、感電の原因となります。 ■ アクセスランプが点灯している状態で、メモリーカードを取出さないでください。 ■ 本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは著作権法上禁止されております。
- 本製品に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷については責を負いかねます。
- 万一、本製品の製造上の原因による不良がありましたらお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本説明書に記載して説明図は、実際のパソコンの画面と異なることがあります。

Apple、Mac、Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
 コンパクトフラッシュ、CompactFlash は SanDisk Corporation 社の登録商標です。
 IBM は、IBM Corporation 社の登録商標です。
 Microsoft Windows は、Microsoft Corporation 社の登録商標です。
 MultiMediaCard は Infineon Technologies AG 社の登録商標であり、MultiMediaCard Association にライセンスされています。
 SD Logo は登録商標です。
 SONY、メモリスティック、Memory Stick は SONY Corporation 社の登録商標です。
 SmartMedia は株式会社 東芝の登録商標です。
 Y-E Data は株式会社ワイ・イー・データの登録商標です。
 その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または、登録商標です。



目次

1. 概要	4
1.1. USB HMD の特徴	4
1.2. USB HMD 各部の名称	5
1.3. 付属品	5
1.4. 使用可能なメモリーカードの種類	6
1.5. メモリーカードのスロット	7
1.6. 対応する OS	8
2. MACINTOSH	9
2.1. MAC OS X (10.1.2 以降) インストール方法	9
2.2. MAC OS 8.6, 9.0, 9.1 及び 9.2 インストール方法	10
2.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法	12
2.4. MAC 上での操作方法	13
2.5. MACINTOSH での制限事項	15
3. WINDOWS	17
3.1. WINDOWS XP インストール方法	17
3.2. WINDOWS 2000 インストール方法	21
3.3. WINDOWS ME インストール方法	24
3.4. WINDOWS 98 及び WINDOWS 98 SE インストール方法	27
3.5. ドライブレターの変更方法 (参考情報)	30
3.6. WINDOWS での操作方法	33
3.7. WINDOWS での制限事項	36
4. 仕様	38
4.1. 使用温度範囲	38
4.2. 使用湿度範囲	38
4.3. 動作時の姿勢	38
4.4. USB 仕様	38
4.5. 電氣的仕様	38
4.6. サポートするメモリーカード	38
5. お問い合わせについて	38

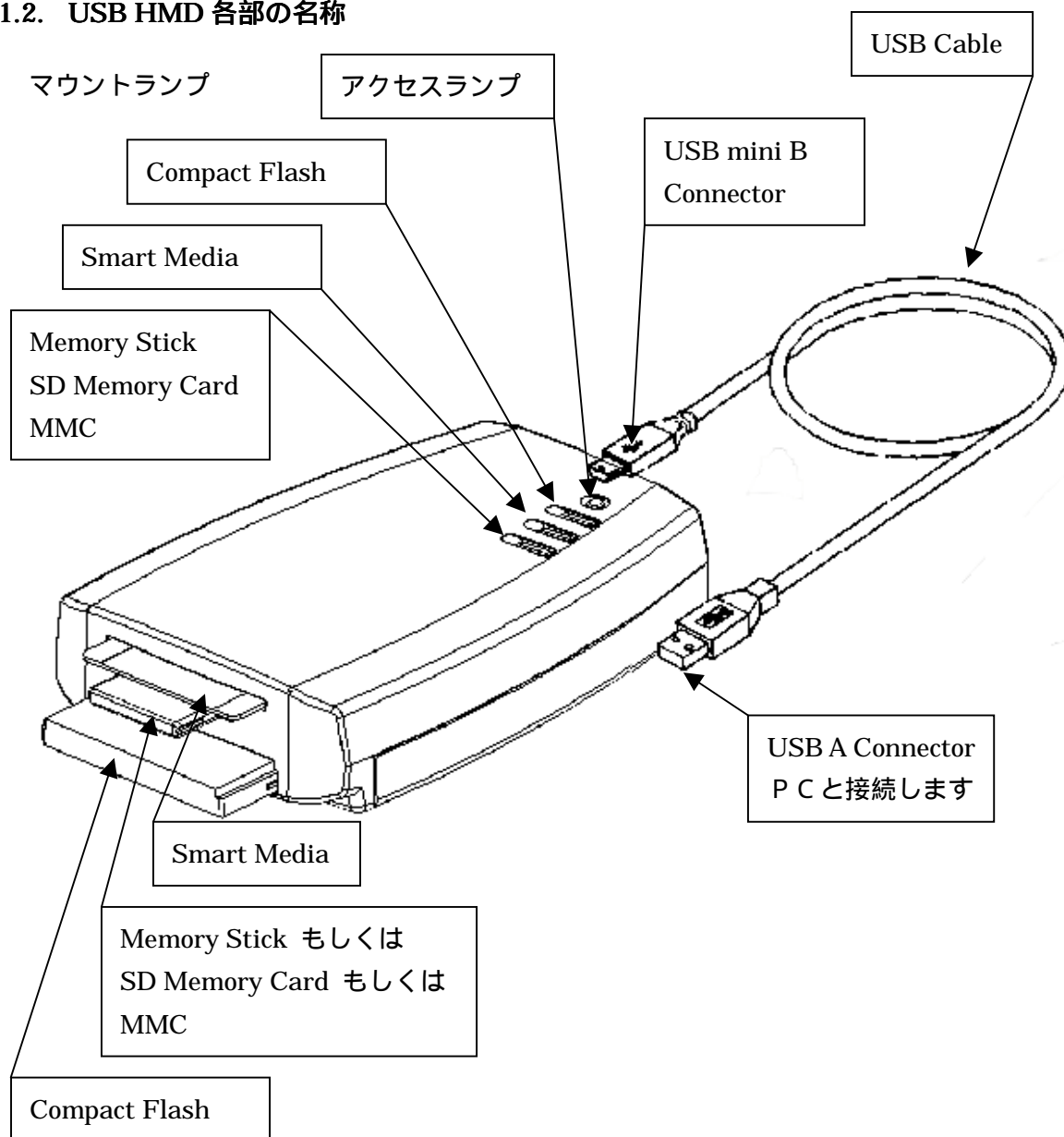
1. 概要

USB Hexa Media Drive (HMD)は、Universal Serial Bus (USB)インターフェースの複合メモリーカード・リーダー・ライターで、6種類のメモリーカードを一つの装置でお使いになれます。ご使用になるには、お使いのパーソナルコンピュータに、USBポートが装備されていること、お使いのOSがUSBをサポートしていること、USB HMD用のドライバソフトウェアがインストールされていることが必要です。

1.1. USB HMD の特徴

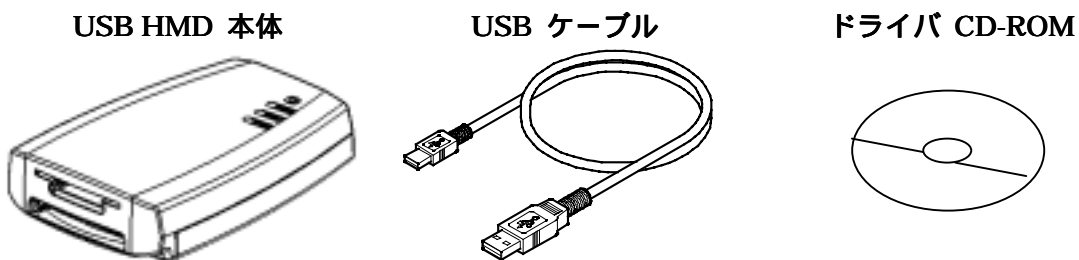
- 1) これ一台で、現在市場に出回っている以下の6種類のメモリーカードが取り扱えます。
 1. SmartMedia
 2. CompactFlash
 3. Microdrive
 4. Memory Stick
 5. SD Memory Card
 6. MultiMediaCard
- 2) 新開発の専用 IC 搭載により、高速なメモリーカードのアクセスが可能です。また専用 IC には、ハードウェア回路によるエラー検出および訂正機能も組み込みましたので、データ化けのない信頼性の高いデータの読み書きが可能です。
- 3) 新たに採用したマウント表示 LED ランプにより、メディアが取外し可能かを容易に判別できます。これによりメディア使用中に誤ってメディアを取外したことによるエラーを未然に防止できます。
- 4) 新開発の複数メモリーカード対応コネクタを採用しましたので、コンパクトな筐体にも関わらず、全種類のメディアカードがアダプタなど不要でそのまま挿入できます。
- 5) 業界標準の USB Mass Storage Class および、Multi Logical Unit Number に対応していますので、最新の OS である Windows Me, Windows XP , Mac OS X では、別途ドライバソフトウェアをインストールするなどの手間をかける必要がなく、USB ケーブルを接続しただけでも、直ちに使用を開始することが出来ます。
- 6) Windows 98、Windows 2000 および、Macintosh でも、独自ドライバを同梱してありますので、簡単な操作ですぐお使いになれます。
- 7) 小型軽量で AC アダプタも不要ですので、モバイル環境でもお使いになれます。
- 8) USB ケーブルは、最新の USB 規格標準の USB mini B コネクタを採用して、本体から取外しが可能です。

1.2. USB HMD 各部の名称



【注意】マウントランプは、メディアが通電中であることを表示するものです。

1.3. 付属品



【注意】メモリーカードは付属していません。別途買い求め下さい。

1.4. 使用可能なメモリーカードの種類

メモリーカード	対応
CompactFlash	DOS フォーマットされた、メモリーカードがお使いになれます。モデム、LAN、PHS カード等の I/O カードはお使いになれません。
Microdrive	IBM 社が製造している、Type II 型の、マイクロドライブは、1 GB の製品まで動作確認しております。マイクロドライブは消費電力が大きいので、ご使用の際は他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
SmartMedia	DOS フォーマットされた、2MB から 128MB のカードがお使いになれます。3.3V タイプ (3V と表示されているのも可) のみサポートしています。5V タイプのカードはお使いになれません。ID 付きの SmartMedia もお使いになれますが、ID 機能には対応していません。著作権保護機能のある音楽 Data 等は、取り扱いできません。また ROM カードには対応していません。
Memory Stick	4MB から、128MB までのスティックがお使いになれます。Magic Gate 付きのカード (白色) もお使いになれますが、Magic Gate 機能には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。メモリー以外の GPS 等の I/O カードはご使用になれません。
MultiMediaCard (MMC)	16M から 64M までのカードがお使いになれます。Keitaide-Music 対応カードもお使いになれますが、Keitaide-Music 機能 (UDAC-MB プロトコル) には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。MultiMediaCard では、読み取り・書き込みの速度は他のカードと比較して大変遅くなります。これはカード側の規格による制限となっております。
SD Memory Card	8MB から 512MB までのカードがお使いになれます。Secure Digital 機能には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。SD I/O カード及び、SD Combo カードはご使用になれません。

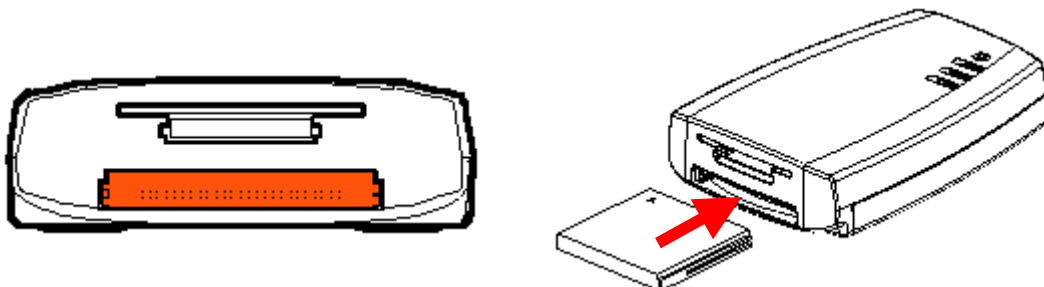
注意)

- 1) 本マニュアルでは、上記 6 種類の媒体を総称して、メモリーカードと表現しています。
- 2) Microdrive をお使いの時は、消費電力の関係で、他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
- 3) Memory Stick、MultiMediaCard 及び、SD Memory Card は、同一のスロットを使用する関係で、同時に使用することは出来ません。
- 4) Format は、DOS Format のみサポートしています。DOS Format 以外の形式で Format されたメモリーカードは、取扱いできない場合があります。

1.5. メモリーカードのロット

1) CompactFlash と Microdrive

Compact Flash と、Microdrive は、ラベル面を上にして一番下のロットに挿入します。



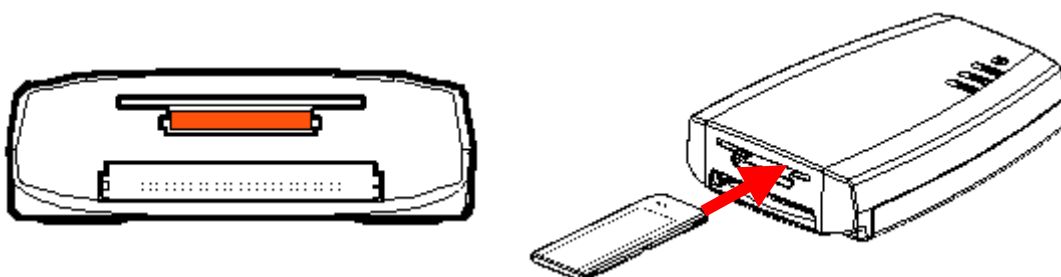
2) Smart Media

Smart Media は、金色の端子を上にして、一番上のロットに挿入します。



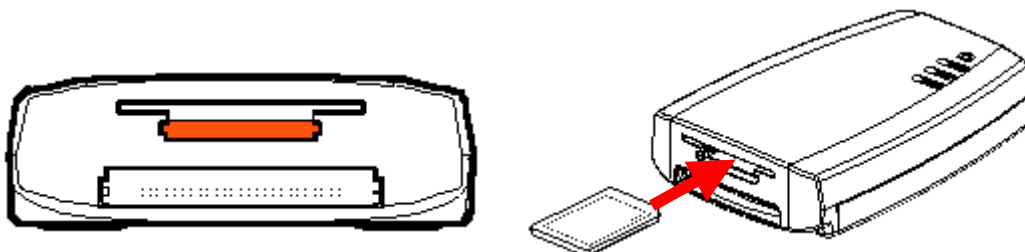
3) Memory Stick

Memory Stick は、ラベル面を上にして、中央のロットの上部に挿入します。



4) SD Memory Card と Multi Media Card

SD Memory Card と Multi Media Card は、ラベル面を上にして中央のロットの下部に挿入します



1.6. 対応する OS

PC	OS	ドライバソフトウェア	参照ページ
Macintosh	Mac OS X (Version10.1.2 以降)	Mac に組み込まれている標準ドライバで動作します。	9
	Mac OS 8.6, 9.x	付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	10
Windows	Windows XP	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。Windows XP Service Pack 1 をインストール後、付属の CD-ROM から、ドライブラベル変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。	17
	Windows 2000	Windows 2000 Service Pack3 をインストール後、付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	21
	Windows Millennium Edition (Me)	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。付属の CD-ROM から、アイコン変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。	24
	Windows 98 Windows 98 Second Edition (SE)	付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	27

【注意】

- 1) Apple 社の情報では、Mac OS 9.0.2 及び 9.0.3 では、OS 起動前に USB 機器を接続していると、Mac OS が起動しない不具合があります。Mac OS 9.0.4 以降にアップデートしてください。
詳細は、Apple 社の Tech Info Library のア－ティクル番号 25139 をご覧ください。
<http://docs.info.apple.com/article.html?artnum=25139>
(アクセスするには Apple 社への登録 (無料) が必要です。)
- 2) Mac OS 8.1 及び 8.5 には対応しておりません。Mac OS 8.6 以降にアップデートしてお使いください。
- 3) Windows 95 には対応しておりません。
- 4) Mac OS X の Version 10.0 から 10.1.1 までを搭載した Mac に接続した場合、正常に動作しません。Mac OS X Version10.1.2 以降にアップデートしてください。
- 5) HMD の最新の情報については、弊社 Web ページ <http://www.yedata.co.jp/support/> をご覧ください。
- 6) USB ポートを Add In カードで増設した、Mac では動作保証はできません。
- 7) OS をアップグレードした PC での動作保証はできません。
- 8) Windows 2000 SP3 以前のドライバソフトもインストールが出来ますが、最適な環境でお使いになるには、SP3 をインストールされる事をお勧め致します。また、SP3 をインストール致しましたら、再び、付属 CD-ROM からドライバソフトをインストールしてください。

2. Macintosh

2.1. Mac OS X (10.1.2 以降) インストール方法

Mac OS X では、OS に標準で組み込まれている Apple 社製のドライバソフトウェアで動作します。特にドライバソフトウェアのインストール作業は不要です。

- 1) 付属の USB ケーブルを用いて、USB HMD と、Mac の USB ポートを接続して下さい。
- 2) メモリーカードを HMD に挿入して下さい。しばらくすると、リムーバブルディスクのアイコンがデスクトップ上に現れてアクセス可能になります。

リムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、メモリーカード上のファイルが表示されます。



【注意】

Mac OS X では OS の制限により、メモリーカードの種類に関らず、同じリムーバブルディスクのアイコンになります。アイコンの形状でメモリーカードの種類を区別することはできませんので、同時に複数のメモリーカードをご使用される場合は、注意してください。

Mac OS X Version 10.0 から、10.1.1 まで OS では、正しく動作しません。必ず Mac OS 10.1.2 以降へアップデートしてからお使いください。

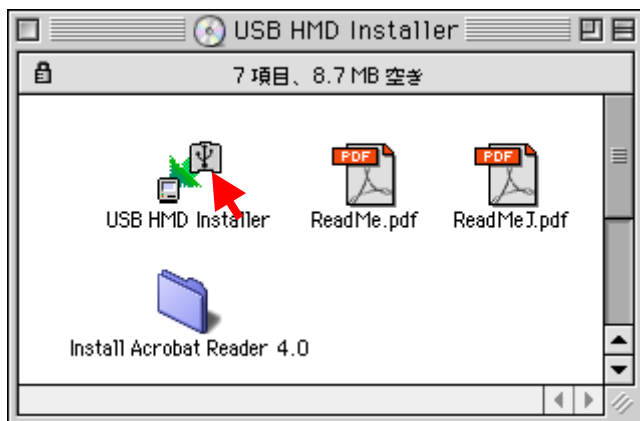
デジタルカメラで使用した写真データなどの記録されたメモリーカードを挿入すると、イメージキャプチャーソフトウェアが自動的に起動する場合があります。イメージキャプチャーの使い方については、Mac OS X のマニュアルをご覧ください。



2.2. Mac OS 8.6, 9.0, 9.1 及び 9.2 インストール方法

Hexa Media Drive (HMD)を Mac に接続する前に、ドライバのインストールが必要です。以下の説明に従って、ドライバのインストールを行ってください。インストーラの表示は英語になりますが、ドライバは日本語環境に対応しています。

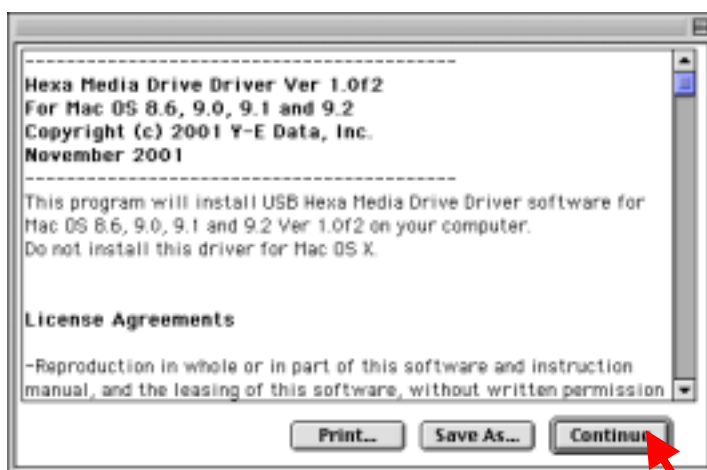
- 1) Hexa Media Drive のドライバ CD-ROM を、Macintosh に挿入してください。インストール後に再起動が行われますので、他のアプリケーションは予め終了しておいてください。
- 2) CD-ROM の Window が自動的に開きます。もし開かなかった場合は、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いてください。ReadMeJ.pdf は日本語マニュアルです。



- 3) USB HMD Installer のアイコンをダブルクリックして、インストールを開始します。
- 4) **Continue** ボタンをクリックしてインストールを続けます。



- 5) バージョン情報、ライセンス等の情報が表示されます。内容は、本マニュアルと同じですので、**Continue** ボタンをクリックしてください。



- 6) インストール先(Install Location)を確認し、必要に応じて変更してください。[Install] ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 7) インストール後に再起動が行われる旨の警告が表示されます。[Continue] をクリックしてインストールを進めてください。



- 8) インストールが終了します。**Restart**をクリックして、再起動してください。



- 9) 再起動後、付属の USB ケーブルを用いて、HMD と Macintosh 本体の USB port とを接続してください。
- 10) メモリーカードを HMD に挿入すると、対応するドライブのアイコンがデスクトップ上に現れてアクセス可能になります。アイコンをダブルクリックすると、メモリーカード上のファイルが表示されます。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD media Card Multi Media Card

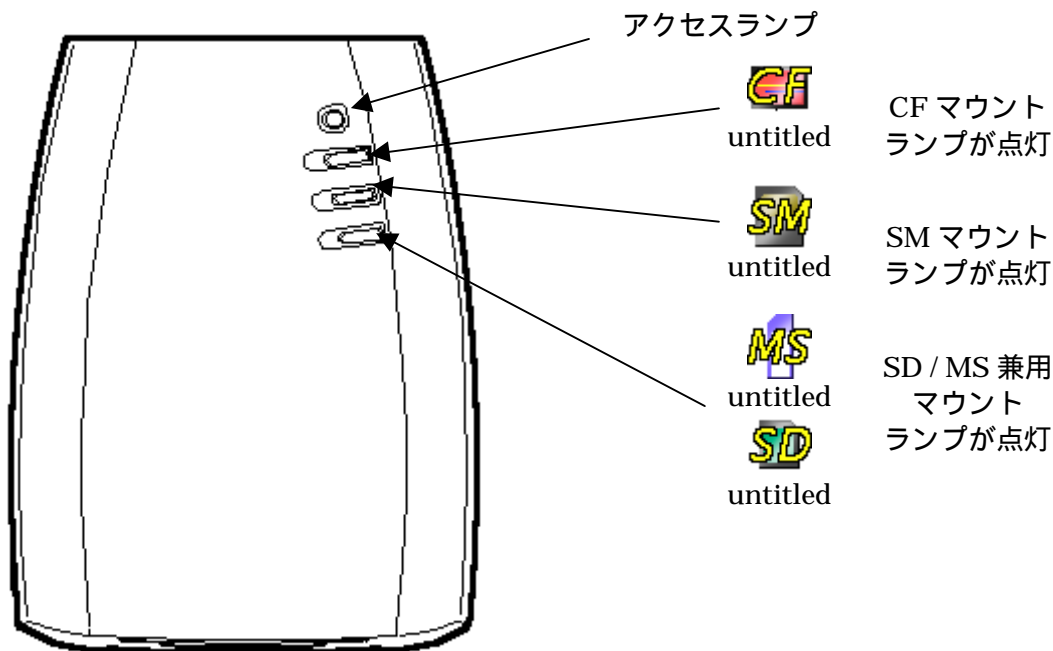
2.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法

ドライバソフトウェアをアンインストールするときは、コントロールパネルの機能拡張マネージャ(Extension Manager)にて、“Y-E Data USB Driver”と“Y-E Data Storage shim”の2つのファイルを、使用停止にしてください。

2.4. Mac 上での操作方法

1) メモリーカードの挿入(マウント)

USB HMD へメモリーカードを挿入すると、HMD 上の対応するマウントランプが点灯し、デスクトップ上に、対応するメモリーカードのアイコンが現れてアクセス可能になります。メモリーカードは、正しい向きで、速やかに奥まで挿入してください。ゆっくり挿入したり、途中で止めたりしますと、正しく認識できない場合があります。



【注意】 アクセスランプが点灯中は、メモリーカードを挿入しないようにしてください。

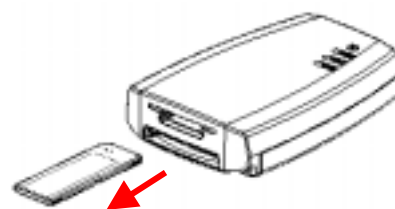
2) メモリーカードの取出し(アンマウント)

重要：本装置は、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いておりません。メディアを取出す時は、下記のアンマウント操作を行って、対応するメディアのマウントランプが消灯し、デスクトップ上からアイコンが消えたことを確認してから、HMD から手で、メモリーカードを抜き出してください。



アンマウント操作

アンマウント操作は、メモリーカードのアイコンをドラッグしてごみ箱にドロップ(メディアのアイコンをごみ箱の上に重ねて、ごみ箱が黒く反転表示になってから、マウスボタンを離す操作)するか、メディアのアイコンをクリックしてから、ファインダーの「特別」メニューから「取出し」を選ぶことで行います。



アンマウント操作を行いますと、対応するマウントランプが消灯し、メモリーカードのアイコンがデスクトップから消えます。アンマウント動作を行わないまま、いきなりメモリーカードメディアを取出しますと、ハングアップしたり、メモリーカード上のデータが壊れたりすることがあります。

【注意】アクセスランプ点灯中は、メモリーカードの取り外し、アンマウント操作をしないでください。

3) USBケーブルの接続と取外し

USBケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えますが、メモリーカードは予め取外してからUSBケーブルの接続を行ってください。USBケーブルの取外しは、2)の説明に従って、予め全てのメモリーカードをアンマウントしてから、行ってください。メモリーカードをアンマウントしないままでUSBケーブルを抜きますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

4) スリープ

本装置は、Macのスリープに対応していますが、出来るだけ、スリープ前にメモリーカードのアンマウント操作を行うことをお勧めします。また、お使いのMac OSのバージョンやMacの種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スリープ前に、アンマウント操作を行ってから、USBケーブルを取外してください。スリープ中は、メディアの挿入や取出し、USBケーブルの抜き差しは行わないようにしてください。

特に、ノートブック型のMacでは、スリープ中にUSBケーブルの抜き差しを行うと自動的にウエークアップする為に、意図しない電池の消耗や、ハードディスクの起動が発生しますので、持ち運び時には、必ず、全メディアをアンマウントしてから、USBケーブルを取外すようにして下さい。

2.5. Macintosh での制限事項

1) フォーマット

メモリーカードの初期化（フォーマット）は、Mac 上では行わないでください。Mac 上で初期化を行いますと、デジタルカメラなどでお使いになれなくなる場合があります。

2) メモリーカードの排出

本装置は、オートイジェクト機構が付いていません。メモリーカードを取り出す時は、アンマウント操作を行ってから、手動でHMDから、メモリーカードを引き抜いてください。

3) 複数のメモリーカードのアンマウント

複数のメモリーカードを同時にアンマウントすると、一部のカードがアンマウントされずに残ることがあります。その場合は、各メディアを1個ずつ個別にアンマウントするようにしてください。

4) USB ケーブルの接続

CompactFlash カードもしくは、Microdrive を HMD に挿入した状態で、USB ケーブルを接続しないでください。Mac OS に正しく認識されないため、動作しない場合があります。USB ケーブルを接続するときは、予め全てのメモリーカードを HMD から取外した状態で行ってください。

5) Microdrive

IBM 社の Microdrive をお使いの場合は、他のメモリーカードを取外してください。Microdrive は他のメモリーカードより大きな電力を必要とするために、他のメモリーカードと同時に使用すると電力不足のためエラーが発生する恐れがあります。

6) 起動

メモリーカードからは、Macintosh は起動（スタート）出来ません。メモリーカードを挿入した状態で、Mac OS を起動したり、再起動したりしないようにしてください。OS に正しく認識されない場合があります。また、メモリーカードの状態によっては、OS の起動の途中でハングアップすることがあります。

7) USB ハブ

USB ハブをお使いの場合には、セルフパワー型のハブに、AC アダプタを取り付けてお使いください。USB HMD は、USB Port から 500 mA の電力の供給を必要とします。AC アダプタが付属していない、バスパワー型のハブでは電力が不足する為に動作しません。

8) USB ポート

USB HMD は、Macintosh 本体の USB ポートに接続するようにしてください。キーボード上の USB ポートには接続しないで下さい。電力が不足する為に動作しません。

9) アクセスランプ

アクセス中や、アクセスランプが点灯している時は、アンマウント操作や、スリープ操作、メモリーカードの抜き差しは行わないようにしてください。

10) 複数機器の使用

1台のパソコンに2台以上のUSB機器(キーボード、マウスを除く)を接続した場合は、同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

11) 推奨する動作環境

USB機器を安定して使用するには、Mac OS9.0.4以降のOSを推奨します。また、アドインカードで追加されたUSBポートでは、動作しない場合があります。

12) 異常時の処置

万一Macintoshがハングアップした場合にはMacintoshのリセットを行ってください。リセットする方法については、Macintoshのマニュアルを参照ください。

3. Windows

3.1. Windows XP インストール方法

Windows XP では、OS に標準で組み込まれているマイクロソフト社製のドライバソフトウェアで動作します。USB ケーブルを接続するだけで、必要なドライバが自動的にロードされますので、すぐにお使いになれます。さらに、製品付属のドライバ CD-ROM からドライブラベル変更用ドライバをインストールしていただくと、各メモリーカードに対応するドライブラベルに変更されますので、より快適にお使いになれます。(Windows XP の仕様により、アイコンは4つともリムーバブルディスクになります。)以下の説明に従って、製品付属のドライバ CD-ROM から、ドライブラベル変更用のドライバをインストールしてください。

- 1) Windows XP を起動し、Administrator の権限のあるアカウントでログインします。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的にインストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

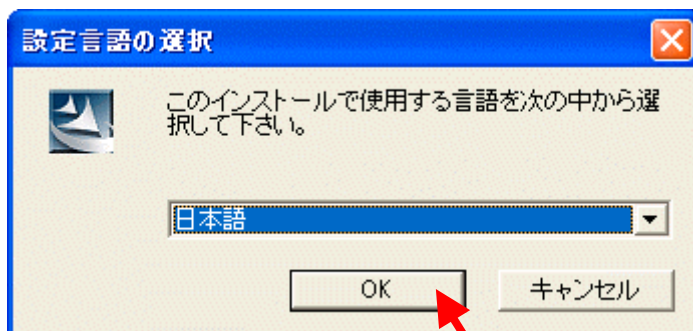


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

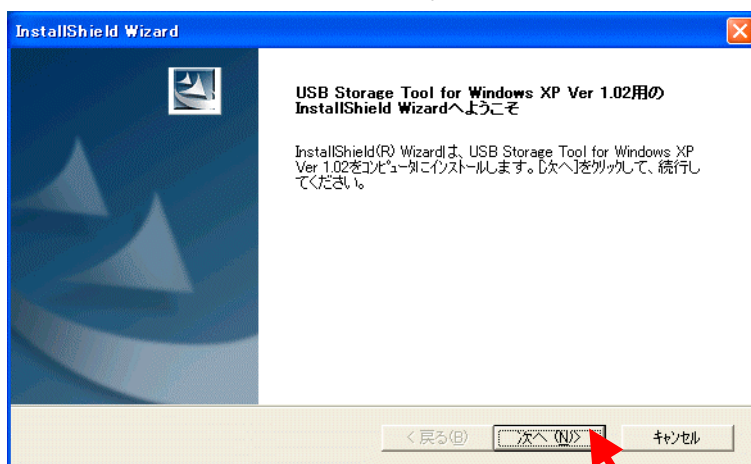


【注意】インストールを2度行くと、2回目にはアンインストールが行われます。

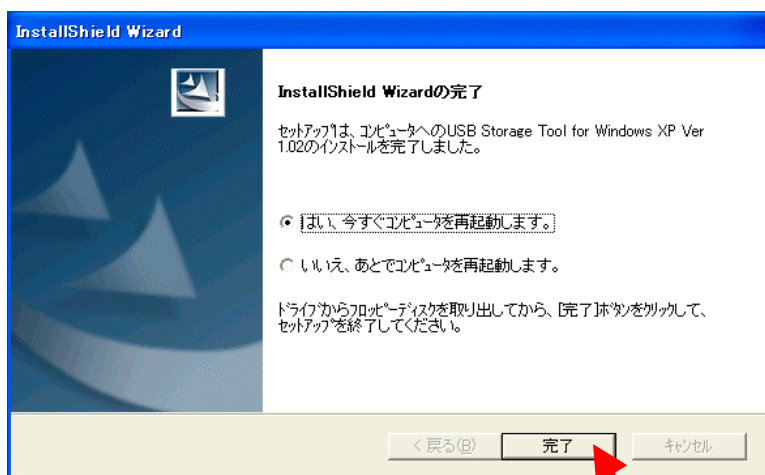
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。[OK] ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは同じです。



- 5) [次へ>] ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルをハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。Windows は、数秒後に自動的に再起動します。







- 7) Windows が再起動しましたら、再び Administrator 権限のあるアカウントでログインしてください。次に USB HMD の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに新しくメモリーカードドライブアイコンが4個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(F:)から(I:)ドライブとなっています。ドライブ文字(F:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



【参考】ドライブレターの変更を行う場合、「3.5. ドライブレターの変更方法(参考情報)」を参照してください。

- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD media Card Multi Media Card



: Windows XP SP1 以前の OS をお使いの場合、アイコンは、左図が表示されます。

- 9) なお、ボリュームラベルが設定されているメモリーカードを挿入すると、ボリュームラベルがドライブラベルとして表示されます。これは、CD-ROM ドライブと同様の機能です。

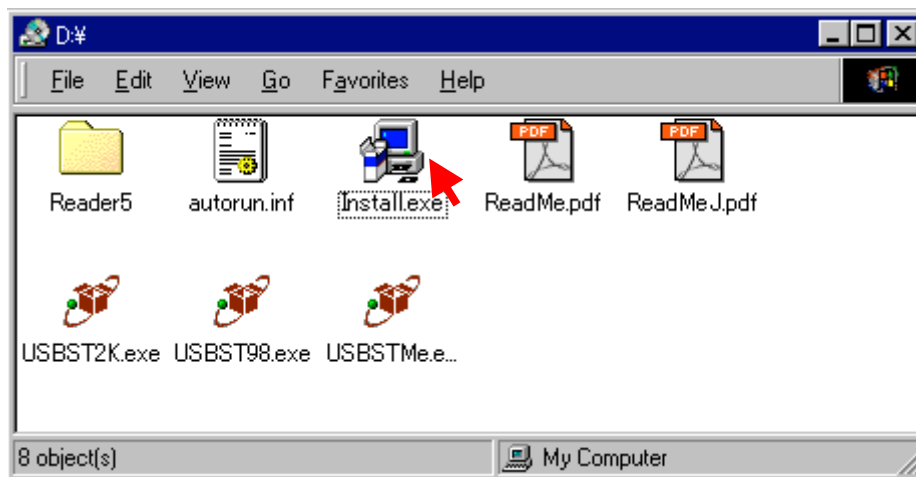
たとえば、Compact Flash のスロットに、ボリュームラベルが "TestData" という Compact Flash を挿入した場合、アイコンとドライブラベルは次のような表示になります。



3.2. Windows 2000 インストール方法

Windows 2000 では、ドライバ CD-ROM から、ドライバをインストールする必要があります。USB HMD を PC に接続する前に、下記の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

- 1) Windows 2000 を起動し、Administrator の権限のあるアカウントでログインします。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

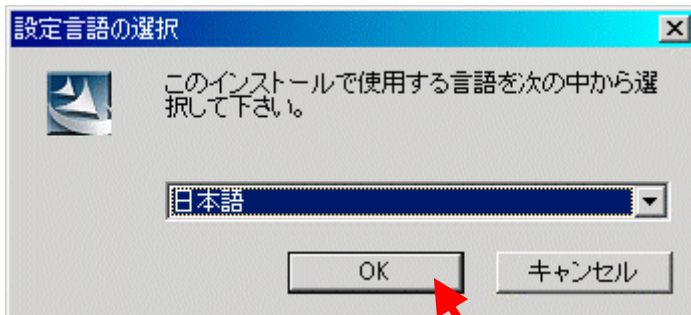


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

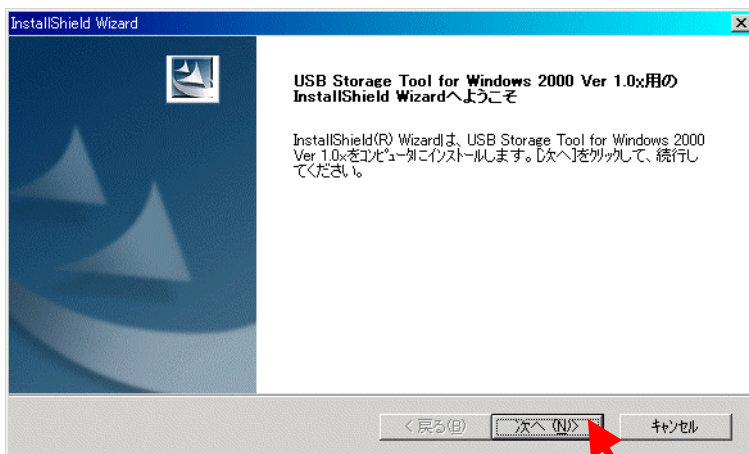


【注意】 インストールを 2 度行うと、2 回目には、アンインストールが行われます。

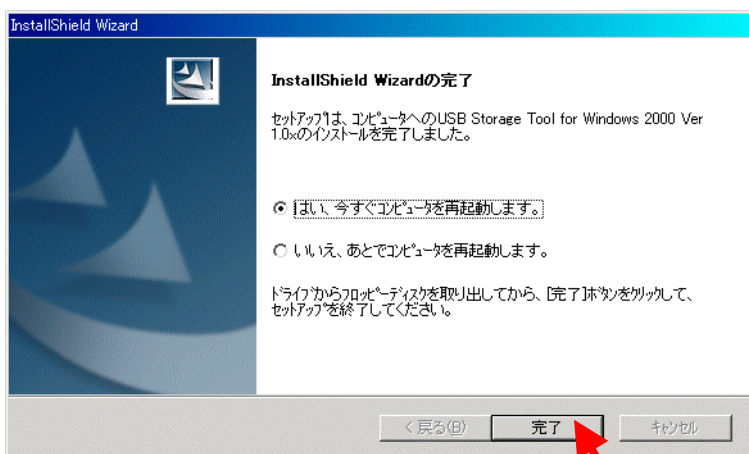
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、再び Administrator 権限のあるアカウントでログインしてください。次に USB HMD の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコンが4個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)ドライブとなっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



【参考】ドライブレターの変更を行う場合、「3.5. ドライブレターの変更方法(参考情報)」を参照してください。

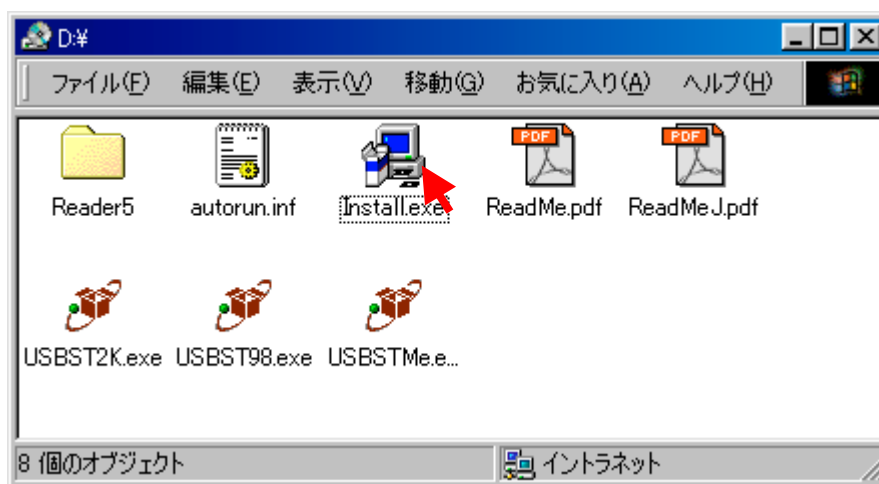
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD media Card Multi Media Card

3.3. Windows Me インストール方法

Windows Millennium Edition (Me) では、OS に標準で組み込まれているマイクロソフト社製のドライバソフトウェアで動作します。さらに、製品付属のドライバ CD-ROM から、アイコン変更用ドライバをインストールして使用しますと、各メモリーカードが対応するアイコンになりますので、より快適にお使いになれます。以下の説明に従って、製品付属のドライバ CD-ROM から、アイコン変更用のドライバをインストールしてください。

- 1) Windows Me を起動します。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

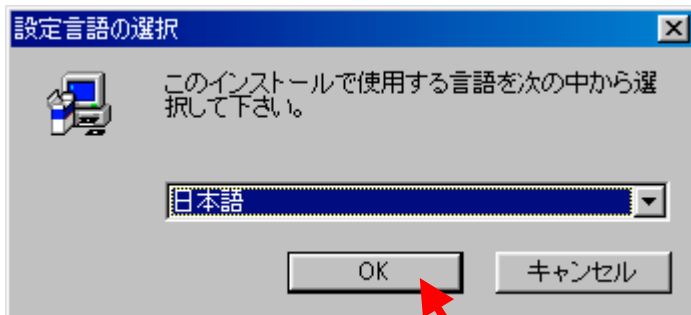


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

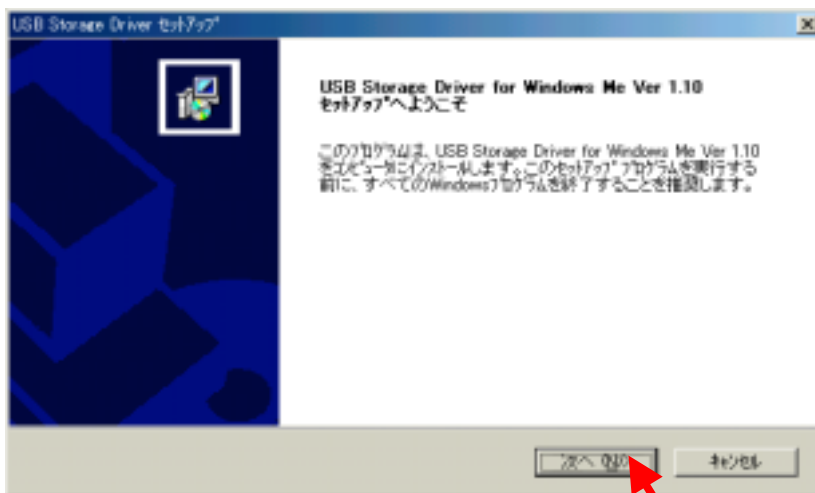


【注意】 インストールを 2 度行うと、2 回目には、アンインストールが行われます。

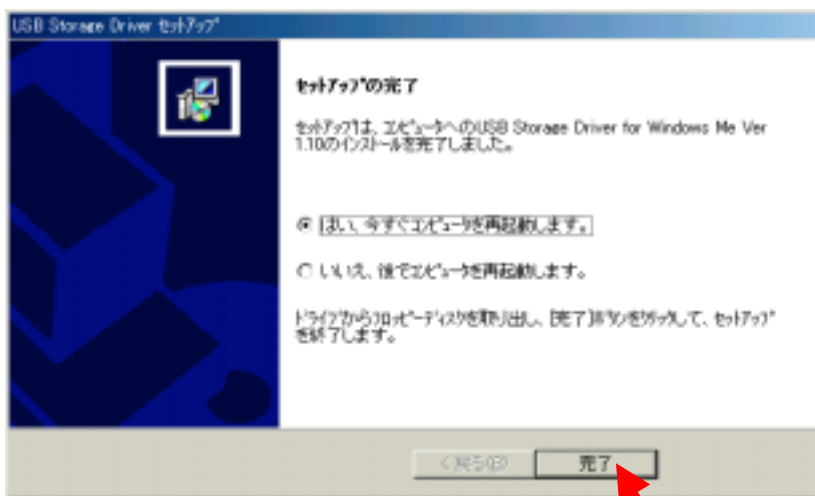
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、USB HMD の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコンが 4 個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)ドライブとなっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



【注意】

アイコンドライバをインストールしない場合は、4つのアイコン共に、リムーバブルディスクのアイコンになります。この場合は、ドライブ文字の若い方から、Compact Flash, SmartMedia, Memory Stick, SD Memory Card の順番となります。

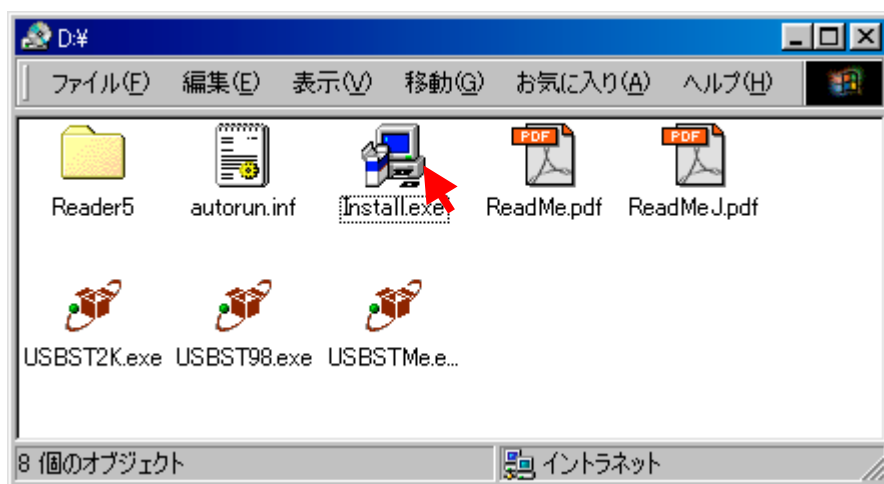
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD media Card Multi Media Card

3.4. Windows 98 及び Windows 98 SE インストール方法

Windows 98 及び Windows 98 Second Edition (SE)では、ドライバ CD-ROM から、ドライバをインストールする必要があります。USB HMD を PC に接続する前に、下記の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

- 1) Windows 98 を起動して下さい。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

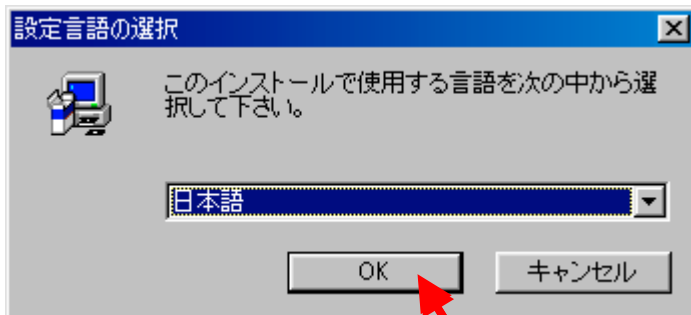


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

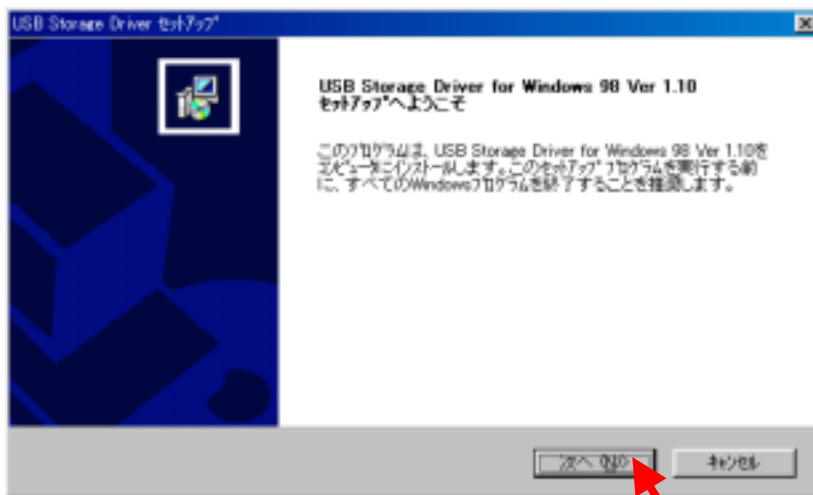


【注意】 インストールを 2 度行うと、2 回目には、アンインストールが行われます。

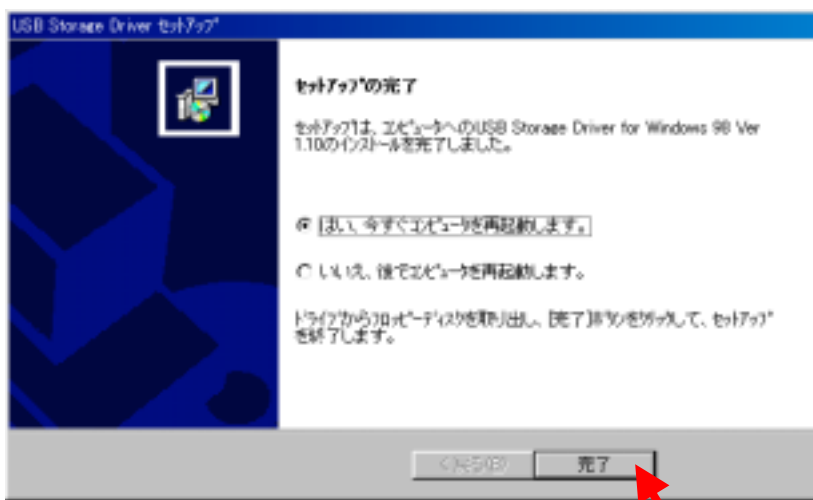
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



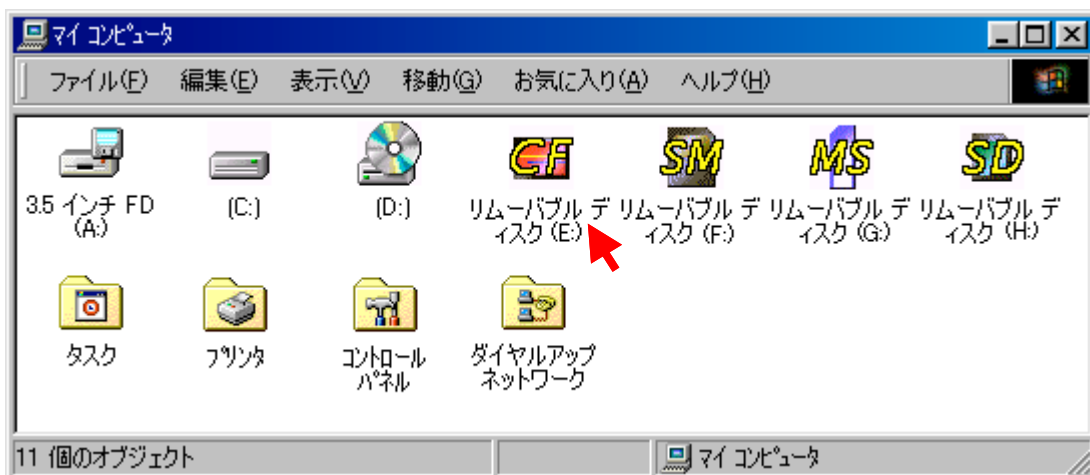
- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、USB HMD の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコン（リムーバブル ディスク）が 4 個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)となっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



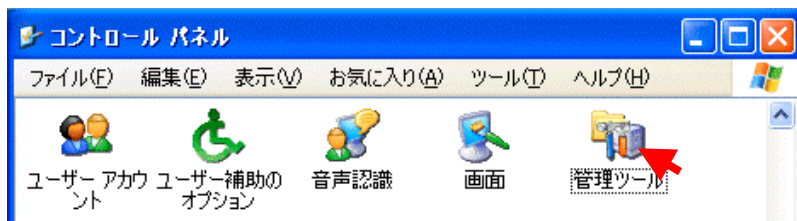
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD media Card Multi Media Card

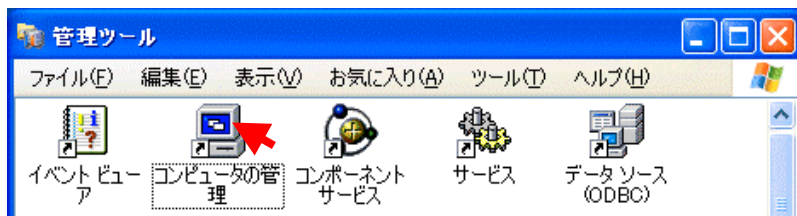
3.5. ドライブレターの変更方法（参考情報）

USB HMD を取付けることで、CD-ROM ドライブなどのドライブレター（E: や F: など）が変化してしまうことがあります。この場合、「コンピュータの管理」メニューで設定することにより、各メモリーカードのドライブレターを変更することが出来ます。以下にその手順を説明します。

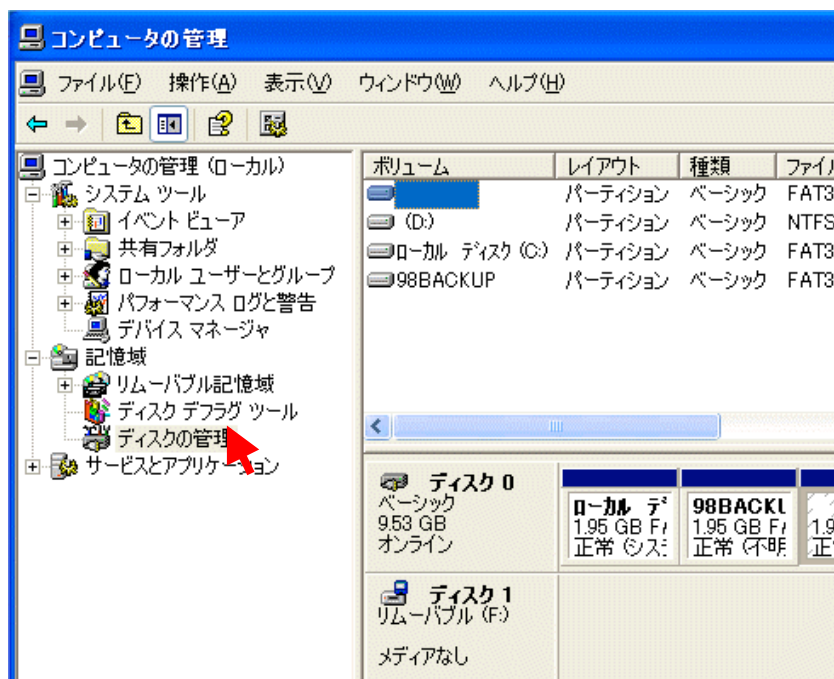
- 1) コントロールパネルより、「管理ツール」をダブルクリックして開いてください。



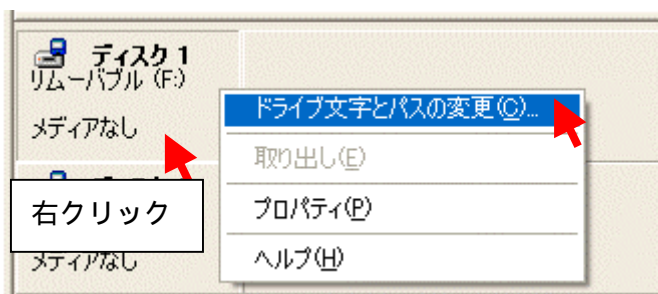
- 2) 管理ツールから、「コンピュータの管理」をダブルクリックして開いてください。



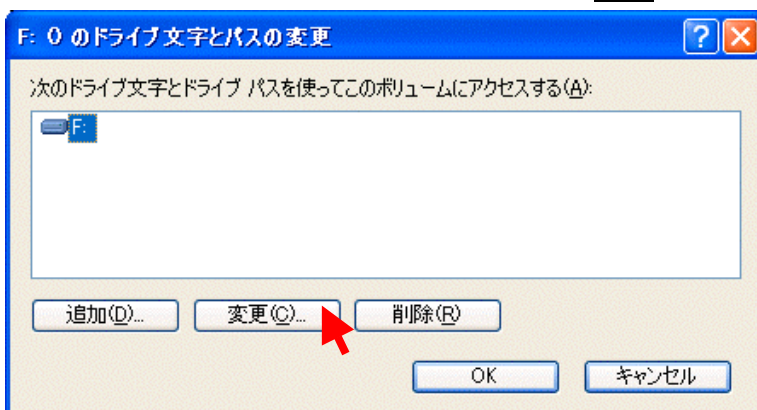
- 3) 「記憶域」ツリーの中の「ディスクの管理」を選択すると、右側にディスクの情報が表示されます。



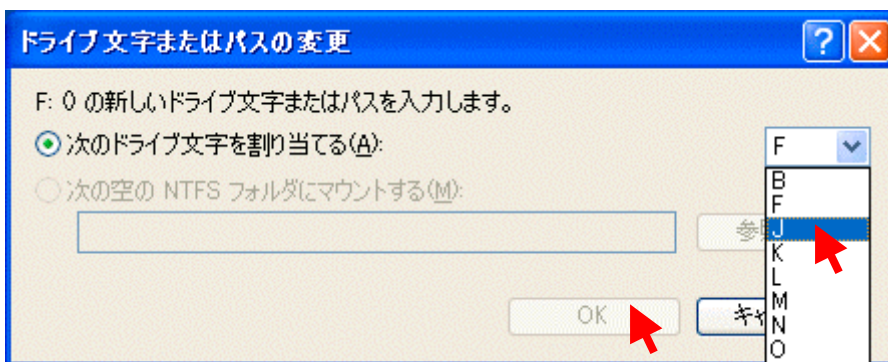
- 4) ドライブレターの変更を行いたい Disk を右クリックし、表示されるメニューから、ドライブレターの変更を選択してクリックしてください。



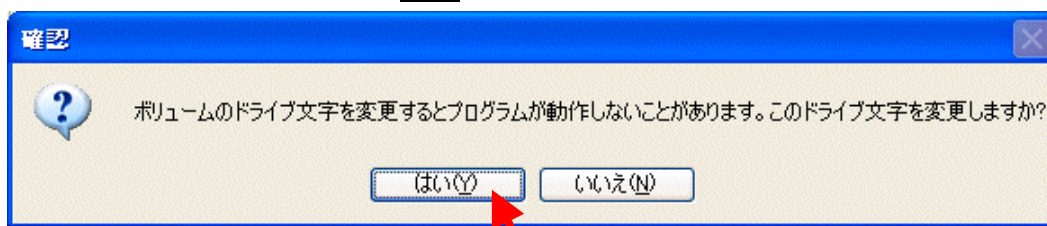
- 5) ドライブレターの変更メニューが出ますので、**変更**をクリックしてください。



- 6) 編集メニューで、ご希望のドライブレターに設定して **OK** をクリックしてください。ここでは、CompactFlash のドライブを、J : にしています。



- 7) 確認ダイアログが出ますので、**はい**をクリックしてください。



- 8) マイコンピュータを開くと、変更が反映されています。以下の例では、CompactFlash を J:、SmartMedia を K: に設定しています。

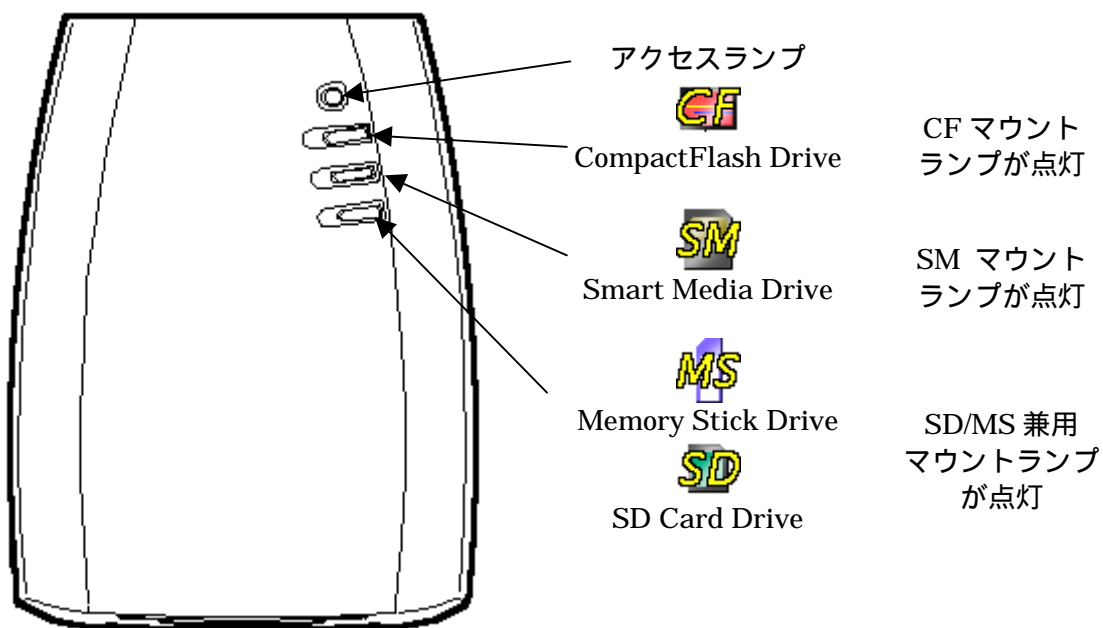


3.6. Windows での操作方法

Windows での操作方法を、Windows XP の場合で説明します。他の OS では、画面の表示が異なる場合がありますが、基本的に操作方法は同じです。

1) メモリーカードの挿入(マウント)

USB HMD へ、メモリーカードを挿入すると、HMD 上の対応するマウントランプが点灯し、アクセス可能になります。メモリーカードは、正しい向きで、速やかに奥まで挿入してください。ゆっくり挿入したり、途中で止めたりしますと、正しく認識できない場合があります。



【注意】 アクセスランプが点灯中は、メモリーカードを挿入しないようにしてください。

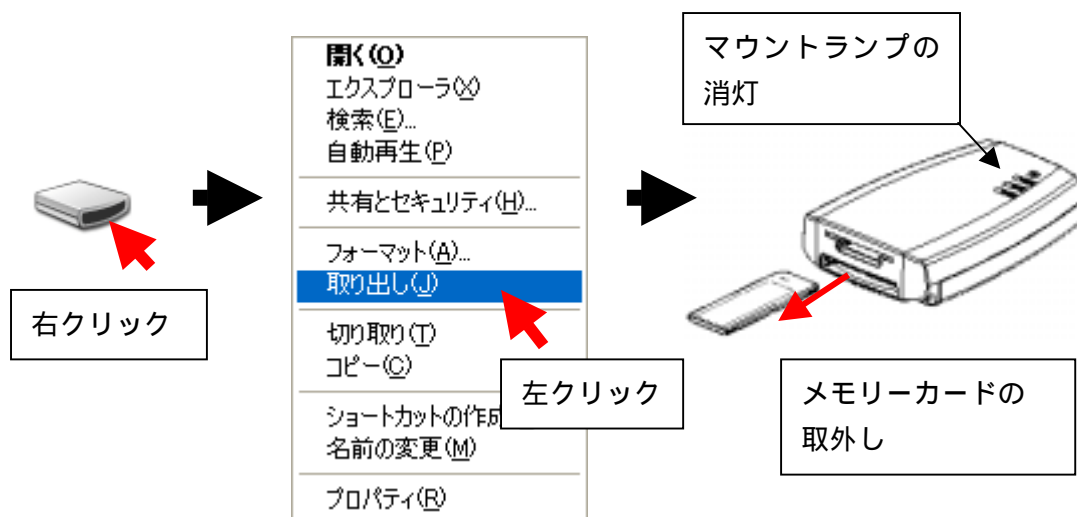
2) メモリーカードの取出し（アンマウント）

本装置は、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いておりません。メディアを安全に取出す為に、下記の取出し操作を行ってから、メモリーカードを抜き出すことを推奨します。特に、Windows 2000, Windows XP では、ユーザが意図していない時に、アクセス中であることがありますので、取出し操作をなるべく行うようにしてください。

取出し操作

取出し操作を行う前に、アクセスランプで、アクセス中ではないことを確認ください。取出し操作は、マイコンピュータから、取出しを行うメモリーカードのアイコンを右クリックすると現れるメニューから「取り出し」を選択して行います。取出し操作を行いますと、対応するマウントランプが消灯します。マウントランプが消灯したら、メモリーカードを指でつまんで引き抜いてください。

【注意】Windows 2000 と Windows XP では、メニューの「取り出し」の実行には、管理者権限が必要です。ローカルセキュリティポリシーを使用し、管理者権限の無いユーザに「取り出し」の実行を許可することも可能です。



【重要】Windows 2000 や Windows XP では、取出し操作を行わないまま、メモリーカードの取外しを行いますと、青画面が表示されたり、メモリーカード上のデータが壊れたりすることがあります。Windows 98、Windows Me では、アクセス中でなければ、特に意識する必要はありません。

【注意】アクセスランプが点灯中は、メモリーカードの取外し操作をしないようにしてください。

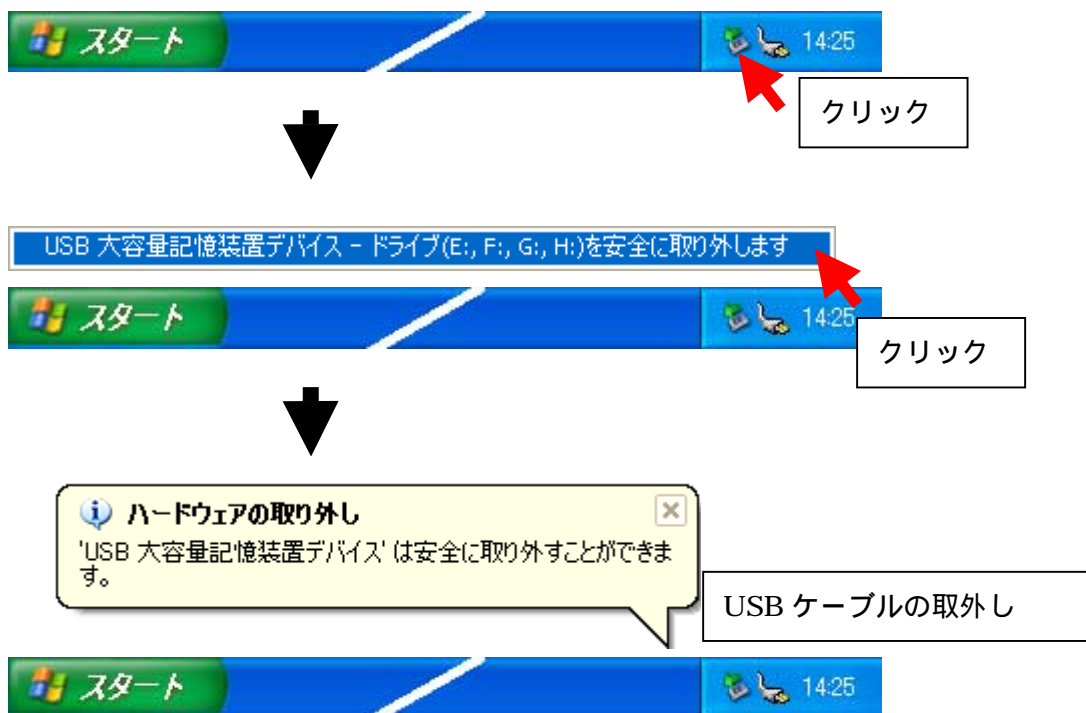
3) USBケーブルの接続

USBケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えます。USBケーブルを接続する時は、全てのメモリーカードを予め取外して接続してください。

4) USB ケーブルの取外し

Windows Me、Windows 2000、Windows XP では、USB ケーブルを取外す前に、タスクトレイの取外しアイコンをクリックして、デバイスの取外しを行ってから、USB ケーブルを取外してください。Windows Me では、4 つの独立したドライブとして表示されますので、4 つ共に取外してください。

Windows 98 では、タスクトレイの取外しアイコンは存在しません。アクセス中ではないことを確認してから、USB ケーブルを抜いてください。



【注意】 アクセス中は、USB ケーブルの取外しを行わないようにしてください。

5) スタンバイ

本装置は、Windows のスタンバイモードに対応していますが、出来るだけ、スタンバイ前にメモリーカードの取出し操作を行うことをお勧めします。また、お使いの Windows のバージョンやパソコンの種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スタンバイ前に、メモリーカードを取外してから、USB ケーブルを取外してください。スタンバイ中は、メディアの挿入や取出し、USB ケーブルの抜き差しは行わないようにしてください。

【注意】 アクセス中は、スタンバイを行わないようにしてください。

- 6) ドライバソフトウェアのアンインストール
ドライバソフトウェアをアンインストールする時は、ドライバ CD-ROM から、Install.exe を起動することで行えます。また、コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除でも、該当のドライバソフトを選択することで、アンインストール出来ます。

3.7. Windows での制限事項

- 1) メモリーカードのフォーマット
メモリーカードのフォーマット（初期化）は、Windows 上では行わないようにしてください。Windows 上で Format を行いますと、フォーマットの種類（FAT サイズやクラスタサイズ）の違いから、デジタルカメラ等の機器で取り扱えなくなる場合があります。デジタルカメラをお持ちの場合は、フォーマットはデジタルカメラにて行ってください。
- 2) USB ハブ
USB HMD は、USB Port から、500 mA の電源の供給を必要とします。HMD を、USB ハブに接続する場合は、セルフパワーハブに、AC アダプタを取り付けてご使用ください。キーボード上の USB ポートなどのバスパワーハブには接続しないようにして下さい。バスパワーハブでは、USB HMD が動作するのに必要な電力が不足する為に動作しません。
- 3) 起動（ブーティング）
PC は、USB HMD から起動できません。一部の PC では、起動時（電源投入時）に Compact Flash もしくは、Microdrive が挿入されていると、起動できない場合があります。起動時には、メモリーカードを挿入しないようにしてください。
- 4) ドライブラベル変更ドライバ
本装置を接続したまま、Windows XP を起動すると、ドライブラベルが“ リムーバブルディスク ”と表示される場合があります。
この場合は、一旦、本装置を取り外した後、再接続してください。
- 5) スタンバイ
Windows XP では、スタンバイ中に、USB 機器を取外すと、スタンバイから復帰後に USB 機器が動作しなくなることがあります。スタンバイ中には、USB 機器の取外しを行わないようにしてください。問題が発生した場合は、OS を再起動してください。

6) メモリーカードの抜き差し

メモリーカードの抜き差しは、必ずアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。Windows の画面上ではコピーが終わったように見えても、OS の遅延書き込み等により、アクセス中の場合があります。また、他のカードがアクセス中で、アクセスランプが点灯している時は新たにメモリーカードを挿入しないでください。

7) Microdrive

IBM 社の Microdrive をお使いの場合は、他のメモリーカードを取外してください。Microdrive は他のメモリーカードより大きな電力を必要とするために、他のメモリーカードと同時に使用すると電力不足のためエラーが発生する恐れがあります。

8) Windows XP の「自動再生」動作

Windows XP では、デジタルカメラで使用した写真データ等マルチメディアの存在するメモリーカードを挿入すると、「自動再生」のメニューがでることがあります。「自動再生」の設定や解除は、マイコンピュータからメディアカードのドライブのアイコンを右クリックすると、「自動再生」のメニューが出ますのでそれで設定を変更します。「自動再生」についての詳細は、Windows XP のマニュアルを参照してください。



9) 複数機器の使用

1台のパソコンに2台以上のUSB機器(キーボード、マウスを除く)を接続した場合は、同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

10) 推奨する動作環境

Windows 98 Second Edition 以降のPCで、PCメーカーにてOSが予めインストールされていた状態のPCを推奨します。

自作されたPCや、OSをPCメーカーの指定する方法以外の方法でアップグレードされたり、ご自身の手でOSをインストールしたりされたPCでは、動作しない場合があります。また、アドインカード等で増設されたUSBポートでは動作しない場合があります。

特に、Windows 95 や、Windows 3.1 などのOSがプリインストールされていたPCでの動作保障は出来ません。

4. 仕様

4.1. 使用温度範囲

動作時 : 5~40°C (41~104°F)
非動作時 : -30~60°C (-22~140°F)

4.2. 使用湿度範囲

30~80% RH 但し結露していないこと

4.3. 動作時の姿勢

水平方向で使用のこと。(アクセスランプ、マウントランプが上になること)

4.4. USB 仕様

USB Spec : Ver 1.1 準拠
転送速度 : 12 MBps (Full Speed Device)

4.5. 電氣的仕様

電源電圧 : DC 4.4 V から 5.25V (USB Port より供給)
消費電流 : 500 mA (MAX) 但し Microdrive 使用時を除く

4.6. サポートするメモリーカード

以下のメモリーカード (スティック) をサポートしています。詳細は、項1.4Page6を参照ください。

- 1) Compact Flash Type I 及び Type II
- 2) Microdrive : 340 MB および 1GB
- 3) Smart Media (3.3V Type) 128 MB まで
- 4) Memory Stick : 128 MB まで
- 5) SD Memory Card : 512 MB まで
- 6) Multi Media Card : 64 MB まで

5. お問い合わせについて

お問い合わせは、ご購入されたお店もしくは、外装に記載されている販売店までお願い致します。